

# 第11回全国高等学校選抜スピードスケート競技会感染症対策について

## 1 開催要件

- ◇ 1 文科省、全国高体連、実行委員会、NF、北海道などの感染対策ガイドラインに沿った対策ができること。
- ◇ 2 会場・移動・宿泊の密の回避と感染対策が出来ること。
- ◇ 3 都道府県を跨いでの移動が規制されていないこと。

## 2 対策

### (1) 全体としての対策

#### ① 体調管理・予防対策

- チェックシートによる体調管理を行う。
  - \* 選手・監督・コーチは学校ごと、競技役員は朝のミーティング前にシートに記入。
  - \* チェックシートは、大会期間中（公式練習日を含む）は大会実行委員会に提出する。
- 明治オーバル内または移動中は、常時マスクを着用する。\* 選手は、w-up、滑走中などははずしてかまわない。
- 咳や発熱等、風邪の症状がある選手・監督・コーチは大会への参加はしない。
- 新型コロナウイルス感染症やその疑いがある方、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触の方は、参加を見合わせていただく。

#### ② 換気対策

- 明治オーバル出入口、リンク出入口は、可能な限りドアを開放し、換気に努める。
- 競技役員控室、記録室等の諸室は、出入口を常に開放し、換気に努める。

#### ③ 消毒対策

- 明治オーバル出入口、リンク出入口、トイレ、各諸室に「消毒液」を設置し、手指消毒を励行する。
- オーバル内の諸室のドアノブ・机・椅子等は定期的に消毒を行う。

#### ④ 飛沫感染防止策

- 参加選手・関係者などは、大きな声で応援しないように周知する。
- 競技役員控室の椅子は対面にならないように配置し、食事の際も対面にならないよう配慮する。

#### ⑤ その他

- 明治オーバル内では密を避け、ソーシャルディスタンスに努める。
- 選手のリンクサイドや中地での声を出しての応援は許可しない。
- 感染の恐れがあるため、ゴミは持ち帰りを原則とする。
- 感染者が出た場合の対応フローを作成し、事前に施設側と実行委員会で協議を行う。
- 帯広市教育委員会・帯広スケート連盟・（一財）帯広市文化スポーツ振興財団が行う感染対策に協力する。

## (2) 個別会場対策

会場	明治オーバル	備考
全体	リンクに通じる扉は、可能な限り開放する。 ただし、整氷技術担当者と打ち合わせの上可能な限りの換気とする。	
会場入口	*全ての入口において、入場の都度、手指消毒を行っていただく。	
選手控室	*控室は観覧席・2階ラウンジを利用する。更衣は1階更衣室を使用するが、更衣のみの使用として可能な限り短時間の使用を心掛ける。 *選手は、常に密の回避に努める。 *選手は自身の身の周りの消毒に心がける。	
監督・引率者控室	*コーチングゾーン側に昼食等で利用できる場所を設ける。	
観客席	無観客での開催とする。 観客席は、選手の控え場所とする。	今シーズンの明治オーバルでの大会は、無観客で行う。
諸室・通告	*競技役員控室は、2階研修室とする。研修室は、常にドアを開放しておく。 *入口に消毒液を設置し、入退場の際は各自消毒を行うよう周知する。 *アナウンサーの間にシールドを設置して対応する。 *通路側の扉は常に開放する。	帯広スケート連盟でシールドは設置

## (3) 用具・試合・練習

	明治オーバル	備考
用具	*日ス連のガイドラインに沿って準備する。 *腕章など選手が使用する物品はアルコールスプレー等で消毒する。 また、個人の持ち物も、必要に応じて消毒できるよう消毒用品を設置する。	
スケート脱着	*中地のベンチは、脱着時の選手の間隔が保てるように配置し、その確保を徹底させる。 *監督・コーチも、リンクサイド及び中地双方ともに間隔の確保を徹底する。	
練習 ウォーミングアップ	*大会前日の公式練習は、学校ごとに時間を分けて実施する。 *大会当日の公式練習は距離別で時間を分けて実施する。 *リンク中地及びリンク内においては、他選手との会話や接触は極力避けて、距離を保つよう心掛ける。 *ウォームアップやクールダウンなどは各自で行い、集団では行わない。 *練習・レースが終了した選手は速やかにリンクから上がるよう周知する。 *リンクサイドに設置してあるバイクを使用した際は、使用者が責任を持って前後に消毒を行うこと。	

試合	<p>①競技進行・アナウンス *各種目終了後、競技を終えた選手に速やかに移動するよう求める。 *競技開始前や整氷の際に、「新型コロナウイルス等感染症予防対策」についてアナウンスし、参加者に注意喚起を促す。</p> <p>②アシスタントスターターC（招集係） *アームバンドは選手自身で脱着するが、補助を求める場合は手を貸す。 *アームバンドの授受等選手との接触機会が多いので、マスク・手袋の着用、手指やアームバンドのアルコール消毒をする。</p> <p>③監督・コーチ *常にマスクを着用する。 *コーチエリアまたは中地で応援・待機する場合もマスクを着用し、他の指導者との間隔を確保する。 *コーチングボックスには、当該距離出場選手の監督・コーチのみとする。（特別な事情のある場合のみ入場可） *コーチは、声を出してのコーチングは行わず、ラップ板を示すのみとする。氷上でのコーチングには、選手との距離の確保や、飛沫拡散防止の行動を求める。 *感染予防対策について、選手への指導を徹底する。</p>	
----	--	--

#### (4) 会議・その他

	明治オーバル	備考
開会式・表彰	<p>①開会式は行わない。 ②競技1日目の競技開始前に「開始式」として、高体連代表挨拶、選手宣誓を行う、 ③表彰式は、中地で行う。 *報道による取材は、全員がマスクを着用し距離を保った上で短時間で行う。</p>	
監督会議 抽選会	<p>①監督会議は、観覧席で行う ②抽選会は、監督会議後に行う。 組み合わせはランキング表に基づき、棄権等を確認後に行う。スタートリスト・タイムテーブルなどは、各チームに1部を配布するとともにホームページに掲載する。</p>	
その他	<p>①手洗い・消毒・マスク着用を徹底する。 ②プログラムの販売は行わない。 ③今大会において、旧管理棟アネックスは開放・利用はしない。</p>	